学校番号	3001

令和５年度　地歴・公民科

教科	地歴	科目	地歴総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会の出来事を深く理解するためには、「なぜこんなことが起きるのか」「その出来事は現代社会に、そして後世にどんな影響を与えるか」ということを考える事が肝要です。そのためには、地域的な特色や日本・世界の歴史の展開を理解しておくことが必要です。基本的な知識をみにつけながらしっかりと考えましょう。世界の国々の諸事情を踏まえながら、現在の日本の在り方について考えましょう。

2　学習の到達目標

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に選択しまとめる技能をみにつける。地理や歴史に関する事象の意味や意義、相互の関連などを多面的に考察し、それを効果的に説明したり議論したりする力を養う。これらを通じて我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する精神を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本や世界の地理・歴史に対する関心を高め意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きて、国際社会の発展に責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を地理的・歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理や歴史に関する諸資料を収集し、そこから有益な情報を選択して読みとったり図表にまとめたりしている。	現代社会の諸課題についての基本的な事柄を、地理的条件や歴史と関係づけながら理解し、その知識を身につけそれを使って考察している。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	ワークシート 定期考査	定期考査 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	日本の地理	地図でとらえる現代世界 地形・気候と生活 日本の諸地域と暮らし ・北海道 ・東北 ・関東 ・中部・北陸 ・近畿 ・中国・四国 ・九州・沖縄	○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○		a:主題を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:主題について、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:主題について諸資料を収集し、有用な情報を収集・選択して読み取ったり表にまとめたりする。 d:主題について、地理や日本史諸地域の地理的な要因と文明の特徴を理解し知識を身に着けているか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、練習問題提出 定期考査
1	世界の地理	現代世界の諸地域 ・アジア ・ヨーロッパ ・南北アメリカ ・オセアニア	○	 ○ ○ ○ ○			a:学習内容に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。 b:設定された諸地域の特質を多面的・多角的に考察し、それらを適切に表現できるか。 c:諸資料を収集して読み取り、選択した有用な情報を図表等にまとめたりすることができているか。 d:ヨーロッパの動き、アジア諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に着けているか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、定期考査
2	日本の歴史	日本の成り立ち 古代の日本 ・飛鳥時代 ・奈良時代 ・平安時代前期・中期 中世の日本 ・平安時代後期 ・鎌倉時代 ・室町時代 近世の日本 ・安土桃山時代 ・江戸時代	○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			A日本の前近代の歴史について意欲的に追求しようとしているか。 b: 日本の前近代の歴史について考察し、適切に表現できるか c: 諸資料を収集し有用な情報を図表等にまとめたりすることができているか。 d:今の社会とのつながりの理解を通して現代社会を考察できるか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、練習問題提出 定期考査

2	日本と世界の歴史	世界の一体化と帝国主義 第一次世界大戦 第二次世界大戦へ 冷たい戦争の時代 冷戦終結への道のり	○	 ○ ○ ◎	 ○ 		a:二つの世界大戦と戦後の世界の諸地域について意欲的に追求しようとしているか。 b: 二つの世界大戦と戦後の世界の諸地域についてに考察し、適切に表現できるか c: 諸資料を収集し有用な情報を図表等にまとめたりすることができているか。 d:両大戦の影響と平和の意義を現代社会と関連付けて理解し考察できるか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、練習問題提出 定期考査
3	持続可能な社会を目指して	発表学習			◎		a:学んだ事柄について関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。 b: 学んだ事柄について考察し、適切に表現できるか c: 学んだ事柄について諸資料を収集し有用な情報を図表等にまとめたりすることができているか。 d: 学んだ事柄と現代社会と関連付けて理解し考察できるか。	毎時間の質問への答え、プリント提出、 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。